1803 BU82

レンジフードファン 取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

壁スイッチ仕様・電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警 告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注 意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警 告

分解・修理・改造禁止
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
  発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

取付注意
- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
  火災などの原因となります。

取付注意
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
  誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

アースを取り付ける
- アースを確実に取り付けること
  故障や漏電のときに感電することがあります。
  アースの取り付けは販売店にご相談ください。

取付注意
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること
  漏電した場合、発火したり感電することがあります。

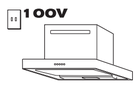
取付注意
- レンジフードファン本体と排気ダクトは、可燃物との間隔を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
  火災などの原因となります。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

取付禁止
- 周囲温度が 40℃以上になる所には取り付けないこと
  火災・故障の原因となります。

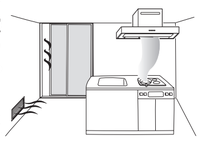
埋込禁止
- レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
  漏電した場合、発火するおそれがあります。

取付注意
- レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにすること
  漏電した場合、発火するおそれがあります。

使用禁止
- 交流 100 V以外では使用しないこと
  火災・感電の原因となります。



給気注意
- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
  排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



⚠ 注 意

手袋をする
- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。

取扱注意
- 本製品は約 45kg の重さがあるので、作業は２人以上で行うこと
  けがをすることがあります。

取付注意
- ファンや部品の取り付けは確実に行うこと
  落下によりけがをするおそれがあります。

使用禁止
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）
  感電および故障の原因になります。

取付注意
- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと
  落下によりけがをするおそれがあります。

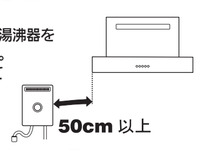
接触禁止
- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
  けがをすることがあります。

取り付け上のお願い

- **下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。**
  - **大工工事【設置のための下地工事等】**
  - **配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】**
  - **管工事【ダクト配管およびレンジフードファンからのダクト接続等】**

  流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。
- ダクトの不燃処理について
  - ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
  - 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
  また調理器具はレンジフードファンの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 程度のものをご使用ください。
  防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 製品は調理器具の真上に取り付けてください。
  なお、製品取付高さは、製品の下端が調理器具の真上 80cm 以上になるようにしてください。

- 必ず調理器具の後ろ側にパネルを立ててください。横風等による換気性能の低下を防ぎます。
  パネルは不燃性の材質のものをご用意ください。
- レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
  また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。
  湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。

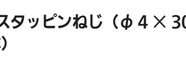


- 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。
  火災・故障の原因となります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で料理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。
- この製品は同時給排タイプのレンジフードファンですが、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。

取り付け前の調査と準備

⚠ 注 意

- レンジフードファン本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強桟等に確実に行うこと
  落下によりけがをすることがあります。

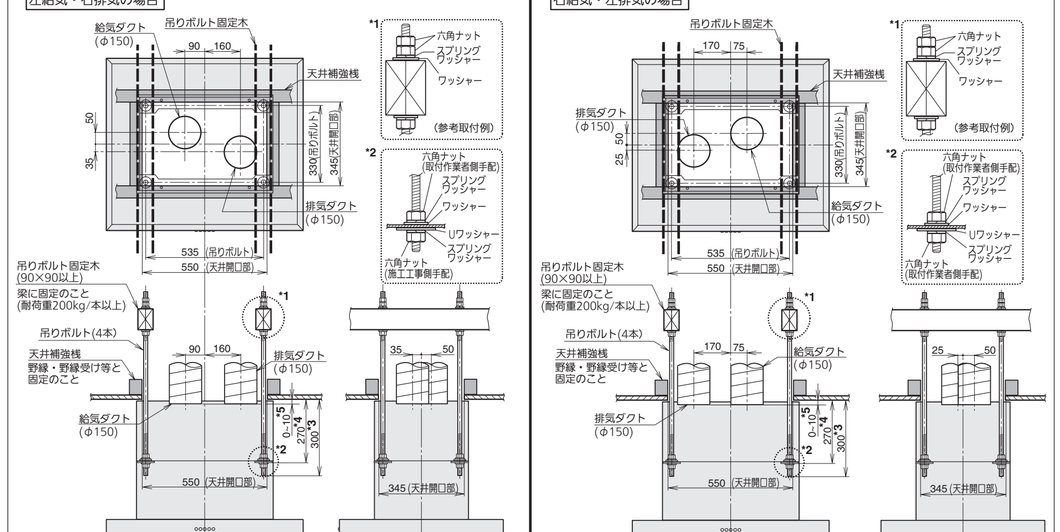


取付注意

取付要領図

※ダクトの準備や接続には排気側と給気側を確認してください。

（単位：mm）



*3,4,5
図中*3～*5の寸法は、製品高さ600mmの場合を示しています。
製品高さ600mm以外の場合は、右記の計算により取り付けてください。

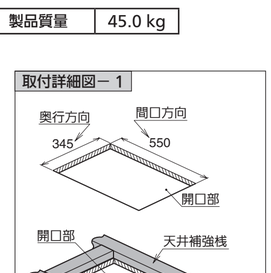
*3: 製品総高さ(mm)－300(mm)
*4: 製品総高さ(mm)－330(mm)
*5: 製品総高さ(mm)－590(mm)～600(mm)

■ 取付位置の強度確認
製品を支える強さが必要です。

製品質量	45.0 kg

1 天井面への穴あけ（取付詳細図－１）
1）天井面の本体を取り付ける位置に間口 550×奥行 345 の開口をあけてください。また、天井開口部近くの補強桟または野縁等に専用コンセントを設置してください。
2）開口部周辺を補強桟で補強してください。
※補強桟は、野縁・野縁受け等に緊結してください。
3）天井開口部近くの補強桟または野縁等に専用コンセントを設置してください。

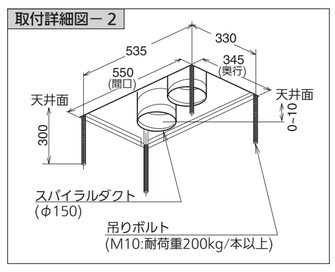
取付詳細図－１



2 吊りボルトの取り付け（取付詳細図－２）
本体の天吊り穴に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。
※ 吊りボルトは、M10 を用いてください。
※ 製品の重量は約 45.0kg です。吊りボルトは耐荷重 200kg ／本以上となるように取り付けてください。

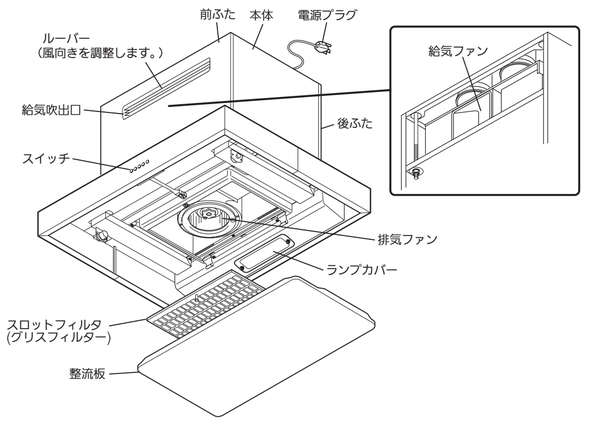
3 排気ダクトの取り出し（取付詳細図－２）
φ 150 のスパイラルダクトを、取付要領図の位置に取り出してください。

取付詳細図－２



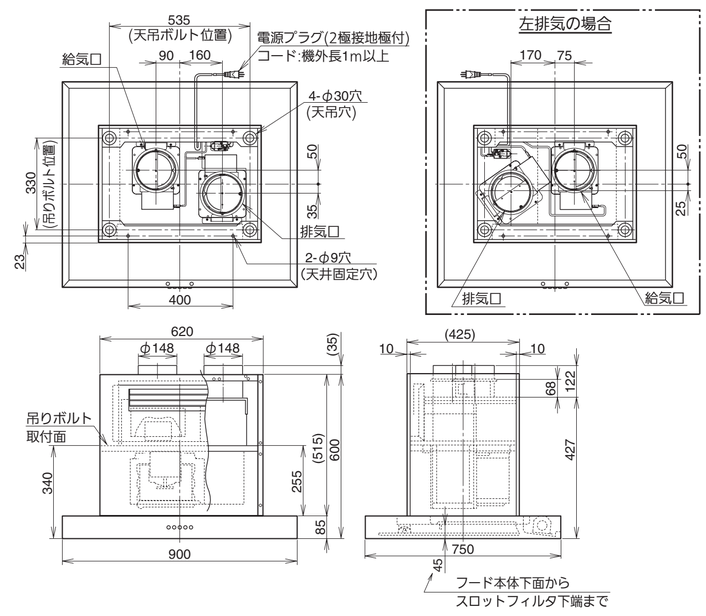
4 電源コンセント・ブレーカ
コンセントおよび電源ブレーカは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）
コンセントは JIS C8303 2 極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

各部の名称



製品寸法図

（単位：mm）



付属品

トラスねじ（M4 × 10）（6 本）	トラスタッピンねじ（φ 4 × 30）（2 本）	ワッシャー（外径φ 18, 内径φ 5. 2）（2 個）	U ワッシャー（4 個）
フード引掛け金具（1 個）	トラスねじ（M5 × 12）（5 本）	SP ワッシャー（M10 用）（8 個）	ワッシャー（外径φ 45, 内径φ 10. 2）（4 個）
ソフトテープ（2 個）	引掛け桟（2 個）		

取り付けかた

1．本体の準備

本製品は右側排気用と左側排気用の２種類があります。取り付けの前に確認してください。本説明書は右側排気用の図で説明しています。左側排気用の場合は給気口・排気口の位置が逆になりますが、取付方法は同じです。

⚠ 注 意

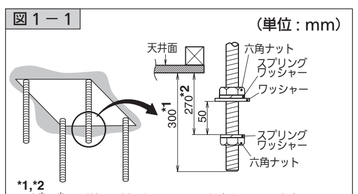
手袋をする
- 製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
  鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

1 付属品を準備します。
梱包箱から本体、フード、金具類、ねじ等の付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認してください。

2 ４本の吊りボルトに図１－１の要領で、六角ナット（取付作業者側手配）・ワッシャー・スプリングワッシャーをセットしてください。（図１－１）

図１－１

（単位：mm）



*1,*2
図中*1、*2の寸法は、製品高さ600mmの場合を示しています。
製品高さ600mm以外の場合は、下記の計算により取り付けてください。

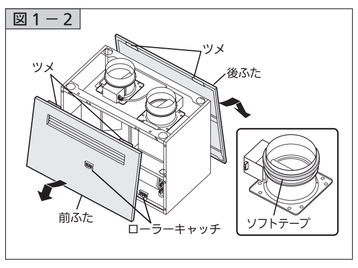
*1: 製品総高さ(mm)－300(mm)
*2: 製品総高さ(mm)－330(mm)

3 本体前後のふたをはずします。（図１－２）
下部のローラーキャッチからはずし、上部のツメを本体からはずします。

4 給気口・排気口にソフトテープを貼り付けます。（図１－２）

お願い
保護用シートはキズ防止のため取り付けが完了するまで取りはずさないでください。

図１－２



2．本体の取り付け

⚠ 注 意

取付注意
- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと
  落下によりけがをすることがあります。

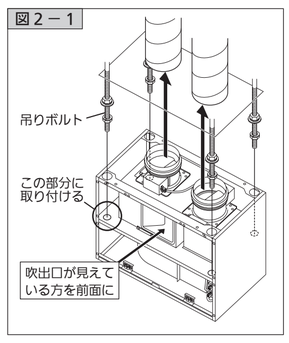
取付注意
- 部品の取り付けは確実に行うこと
  落下によりけがをするおそれがあります。

取扱注意
- 本製品は約 45kg の重さがあるので、作業は２人以上で行うこと
  けがをすることがあります。

1 本体を吊りボルトに差し込みます。（図２－１）
本体上部の穴に天井の梁から出ている４本のボルトを差し込みます。
給気口・排気口に各ダクトを差し込みながら天井まで持ち上げてください。

お願い
- 給気ファンの吹出口が見える面がフードのスイッチ面（前面）となりますので、向きを確認して取り付けてください。（図２－１）
- ダクト接続の際は給気側と排気側を確認し、正しく接続してください。

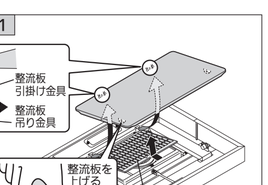
図２－１



2 吊りボルトに固定します。（図２－２）
付属の U ワッシャーを本体上部の内側４ケ所に差し込み、六角ナットで締め付けます。（図２－２）

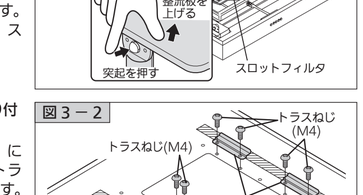
お願い
- 本体と天井の間にすきまを作らないように取り付けてください。
- 六角ナットの締め付け作業時、配線へのキズつけや、はさみ込み等に十分に注意してください。

図２－２



3 本体を天井面に固定します。（図２－３）
付属のトラスタッピンねじ（φ４×30）２本（位置ずれ防止用）にワッシャーを通して本体内側から天井に取り付けます。

図２－３

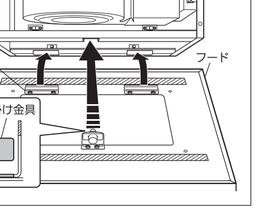


4 接続部をテーピングします。（図２－４）
給気・排気ダクトの接合部へ風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。

図２－４

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い（図２－５）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードファンの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面（フード天面等）が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。
排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）を行ってください。
漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置を行ってください。

図２－５



3．フードの取り付け

作業する際は、製品や床などを傷つけないように行ってください。

※ フード天板上のテープは「6. 試運転」終了後に取りのぞいてください。
ただし、配線コード固定用テープは取付作業時にとりはずしてください。

1 整流板とスロットフィルタをはずします。（図３－１）
1）整流板の左右を両手で支え、押し上げます。
2）左右の突起を押し込みながらゆっくりと 10cm 程度開いた状態で、整流板を少し奥に押し上げながら上に持ち上げ、整流板吊り金具からはずして手前に取りはずします。
3）固定しているテープを剥がし、スロットフィルタをはずします。

図３－１

2 フード引掛け金具と引掛け桟を取り付けます。（図３－２）
1）フード上面前側（スイッチ側）に付属品のフード引掛け金具をトラスねじ（M4）２本で取り付けます。
2）反対側に付属品の引掛け桟をトラスねじ（M4）４本で取り付けます。

図３－２

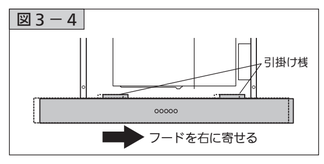
3 本体にフードを取り付けます。（図３－３）
1）フードを持ち上げ、やや左寄りにしてフード引掛け桟を本体内側のフランジに差し込みます。
2）フード引掛け金具が本体に「カチッ」とロックするまで持ち上げます。

お願い
- フードの配線をはさみ込まないよう十分に注意してください。
- 確実にフード引掛け金具のストッパーが本体の桟に引っ掛かったことを確認してください。
  ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。

図３－３

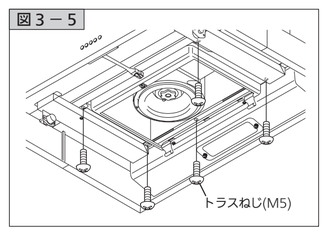
4 フードを右へ寄せます。（図３－４）
本体のフランジとフードの引掛け桟右端が合わさるまで寄せると、本体とフードの取付穴が合います。

図３－４



5 フードと本体を固定します。（図３－５）
付属品のトラスねじ（M5）５本でフードと本体を固定します。

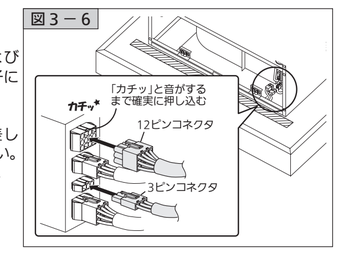
図３－５



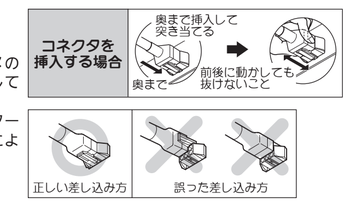
6 コネクタを接続します。（図３－６）
本体から出ている 12 ピンおよび３ピンコネクタをフードの端子に正しく接続します。

※ 特に 12 ピンコネクタの差し込みは確実に行ってください。動作不良の原因になります。

図３－６



お願い
コネクタの接続について
コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。
接続が不十分な場合、レンジフードファンが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

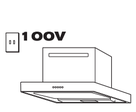


4．電気配線

⚠ 警 告

分解・修理・改造禁止
- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
  発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

使用禁止
- 交流 100V 以外では使用しないこと
  火災・感電の原因になります。



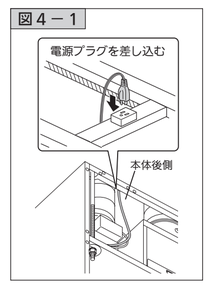
取付注意
- 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
  誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

アースを取り付ける
- アースを確実に取り付けること
  故障や漏電のときに感電することがあります。
  アースの取り付けは販売店にご相談ください。

■ コンセントは、JIS C 8303 2極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。
■ 必ずアース（D 種接地工事）をしてください。
■ 電源プラグをコンセントに差し込み、ブレーカを「入」にします。（図４－１）

お願い
電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。

図４－１



5．組み立て

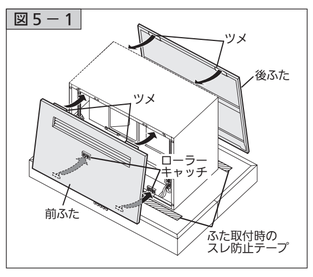
⚠ 注 意

取付注意
- 部品の取り付けは確実に行うこと
  落下によりけがをするおそれがあります。

1 本体前後のふたを取り付けます。（図５－１）
前後のふた上部のツメを本体に引っ掛け、下部２ヶ所のローラーキャッチで固定します。

お願い
- 側面にすきまがないことを確認してください。
- フード本体上面の白テープ２本は、前・後ふた取り付け時のスレ防止用です。「6. 試運転」終了後に剥がしてください。

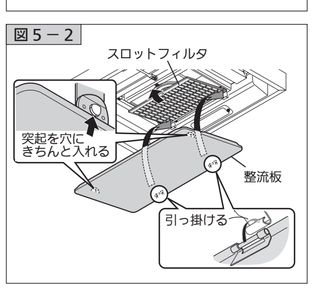
図５－１



2 スロットフィルタと整流板を取り付けます。（図５－２）
スロットフィルタと整流板を、取りはずしたときと逆の手順で取り付けてください。

お願い
整流板を軽く上下に動かしてみて、確実に取り付けられたことを確認してください。

図５－２



6．試運転

⚠ 注 意

接触禁止
- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
  けがのおそれがあります。

■ 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
■ 正常に動作しない場合は、本書「取り付けかた」図３－６をご覧になり、正しくコネクタが接続されているかを確認してください。
■ 運転時、各速調の排気・給気が正しく行われていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 前面のルーバーから給気されていることを確認してください。
■ 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
■ 取り付けまたは施工上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

7．お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

［製造元］ 富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９
TEL 042(768)3754（営業部）

この説明書は再生紙を使用しています。